



令和6年5月30日（木）

東彼杵中だより

文責：校長 正尾 敏

第10号

生徒会による工夫された「生徒集会」の取組

5月30日（木）8:15より、ホールにて定例の生徒集会を実施しました。今回は生徒会役員が全校生徒の前で演劇をしながら、6月の定期テストに向けての心構えを演じてくれました。シナリオを田中純さんが考え、生徒会役員で上手に劇を繰り広げました。昨年度までの生徒会にはなかった取り組みで、本年度の生徒会の主体性を感じることができました。劇では、【3つ「ご」】という文字を提示し、「ゴールをきめる」「ごっそり手放す」「ごほうびを用意する」といったことをテスト勉強の心得にしようと全校生徒にわかりやすく説明していました。教師側から勉強しようという投げかけももちろん必要ですが、生徒からの声掛けも大事だと実感しました。生徒会役員の皆さん、本当にありがとうございました。是非、このような取組を今後も続けてほしいと願っています。



生徒会による「あいプラス運動」

毎朝行っている生徒玄関前の「あいさつ運動」に今年度より、学校運営協議会の毛利政俊会長にご参加いただき、昨年以上に大きな朝のあいさつが生徒玄関で交わされています。先日は生徒会の「あいプラス運動」の取組として、40人以上の生徒が一斉に玄関前で大きな声であいさつを呼び掛けてくれました。毛利会長さんや生徒会の取組のおかげで、昨年以上に校内で生徒が元気よくあいさつをしていると実感しています。これからも全校生徒で元気にあいさつができる学校を目指しましょう。



川棚特別支援学校の紹介

本校は、川棚特別支援学校との交流学习を行っています。この交流学习は千綿中学校時代を含めると、何と13年以上も続いています。今年度も1年生が交流学习を実施しますが、それに先立ち、川棚特別支援学校の城下桂子先生が、先日本校を訪れ、1年生の生徒に川棚特別支援学校の説明をしていただきました。クイズ形式のわかりやすい説明で、生徒もどんな生徒が通学しているのか興味をもってよく説明を聞いてました。交流学习を通して将来、様々な人々への理解や対応、コミュニケーションをとる際に大切にしたいことなどを学んでほしいと思います。



生徒会テーマ



あいプラス運動

